

さば一本釣漁業試験

大島正秀・梶田和夫

1. 趣 旨

本県の沿岸漁業並びに近海漁業はいわし資源の激減と沿岸漁場の荒廃により不況の一途を辿っているため、これが対策として沿岸漁業指導船常洋丸を使用して、さば一本釣漁業試験を実施した。

2. 期 間

昭和27年5月3日より7月30日まで

3. 調査範囲

茨城県近海より福島県沖合

4. 使用船及び乗組員

常洋丸（総噸数17噸82，機関燒玉50馬力）

第1表 出漁航海概要

航海次数	出港日 出港地	入港日 入港地	漁獲 量	概 況
1	5月3日 那珂湊	5月4日 那珂湊	130貫	調査地那珂湊SE18裡，月夜の為浮上せず
2	5月14日 那珂湊	5月16日 那珂湊	0	銚子沖より那珂湊沖間調査するも水色悪く浮上せず
3	5月19日 那珂湊	5月20日 小名浜	0	平磯沖より小名沖間調査するも水色悪く浮上せず
4	5月21日 小名浜	5月22日 那珂湊	0	小名浜沖より原釜沖間調査するも水色悪く浮上せず
5	6月20日 那珂湊	6月21日 磯 浜	130貫	那珂湊 ESE~SE 15 裡附近水温 22.2°C，付稍良好
6	6月21日 磯 浜	6月22日 磯 浜	120貫	那珂湊 ESE 13 裡，鯨混り付稍良好，水温 20°C~22°C
7	6月27日 那珂湊	6月28日 磯 浜	175貫	那珂湊 E 12 裡，鯨，鱈混り，水温 20.2°C
8	6月29日 那珂湊	6月30日 磯 浜	230貫	那珂湊 E 10 裡，鯨，いか混り，水温 20~21°C，餌付良好
9	7月1日 那珂湊	7月2日 那珂湊	30貫	水色悪く餌付不良
10	7月22日 那珂湊	7月23日 磯 浜	80貫	水色悪く餌付不良
11	7月24日 那珂湊	7月25日 那珂湊	0	水色悪く全く餌付なし
12	7月26日 那珂湊	7月27日 久慈浜	39貫	水色悪く全く餌付なし
13	7月28日 久慈浜	7月29日 久慈浜	152貫	日立 E 10 裡，小鯖群餌付良好
14	7月29日 久慈浜	7月30日 那珂湊	0	水色悪くバラフグ浮游のため全く餌付なし

船長以下8名

5. 漁 具

- (1) さば1本釣漁具(釣竿, アンドンビン)
- (2) 肉摺機 主機関ベルト掛け1台
- (3) 集魚燈 200W電球片舷5箇宛

6. 餌 料

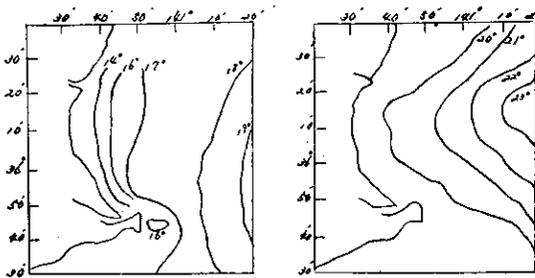
ウルメイワシ, カタクチイワシ, マイワシ, アジ仔, ニシン, サバ

7. 操業経過

第1表に示すように調査期間中主として那珂湊港を根拠として延14航海の操業試験を実施した。その航海経過の概要は次の通りである。5月上旬那珂湊沖 15'~20' 水温 16.9°C~17.2°C の水域では小さば, 中羽いわし混りの大群が認められたが, 水色悪く1本釣の対象にはならなかつた。併し6月中旬頃からは水色も良くなり, 那珂湊SE 15' 附近より操業を開始した。さば群も黒汐暖流の北上につれて接岸し始め, 初漁期には殆んど大きさが釣獲されたが, 7月8日頃からは小ささがそれに代り, 本県沿岸5' 附近迄接岸した。

8. 海況・漁況(第1図参照)

5月 三陸沖沿岸から鹿島灘に沿って南下する親汐寒流は, 4月頃より引続き強かつたが,



第1図 海況(左5月, 右6月)

北上する暖流勢力のために犬吠崎附近より東沖に圧迫され出し, 北上暖流との間に汐境を形成し, 此のため鹿島灘沿岸一帯にある 14°C 台の水帯を停滞させていた。

6月 黒汐暖流は5月に引続きその勢力が増大し, 水温 23°C の水帯は犬吠崎沖より塩屋崎沖にかけて岸沿いに張り出しており, このため本県沿岸は

一帯に 20°C 台の水帯に覆はれた。又本年は水色悪く, 且つ火付も悪く調査期間中の漁獲期間は6月下旬から7月にかけての極く短期間であつた。

9. 魚体調査

(1) 体長・体重組成

茨城沿岸で挑ね釣漁業により漁獲されたさば(ほんさば)の体長組成及び体重組成は第2図に示す様なものである。図によれば体長及び体重共に Bimodal な分布を示し, 21~22cm 及び 29cm, 100~150gr 及び 350~400gr に夫々大小の山が認められる。この第1の大きい山は1年魚で, 第2の小さい山は2年魚であろう(岸上1923)。そして全尾数 191 尾の体長平均値は 24.37cm±3.06 で 21.3cm から 27.0cm 間のもので全体の大半 67% を占めている。

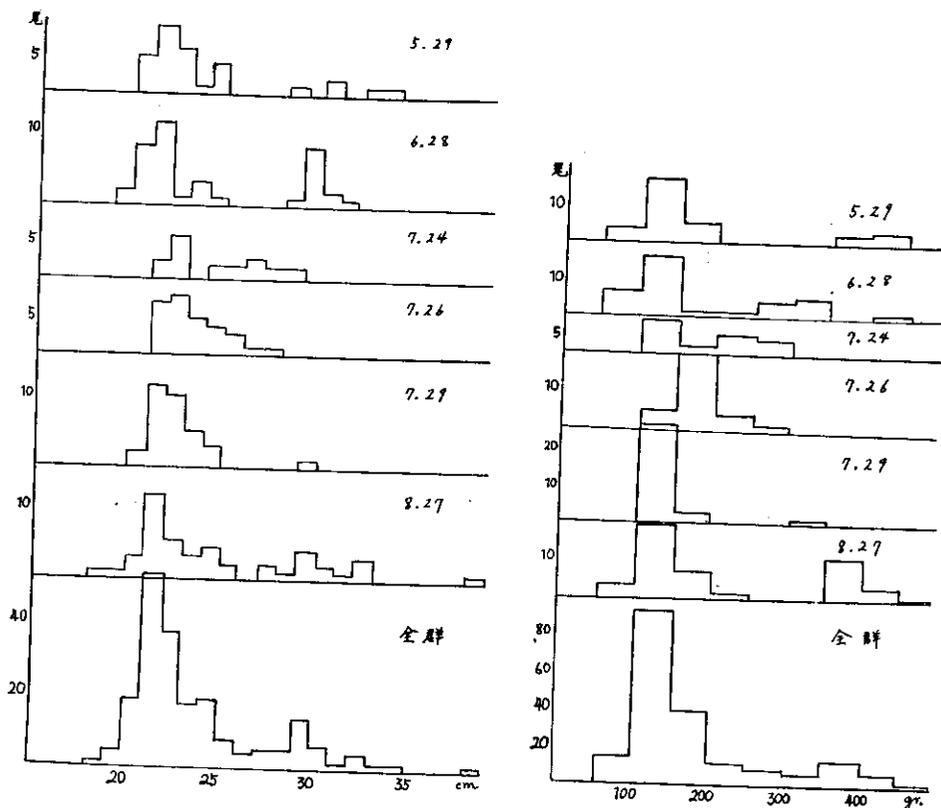
(2) 体長と体重との関係

体長(L)と体重(W)の関係を求めると第3図に示す様に, 指数函数的な関係が求められ与へられた材料の範囲内では

$$W = 0.0027L^{3.474}$$

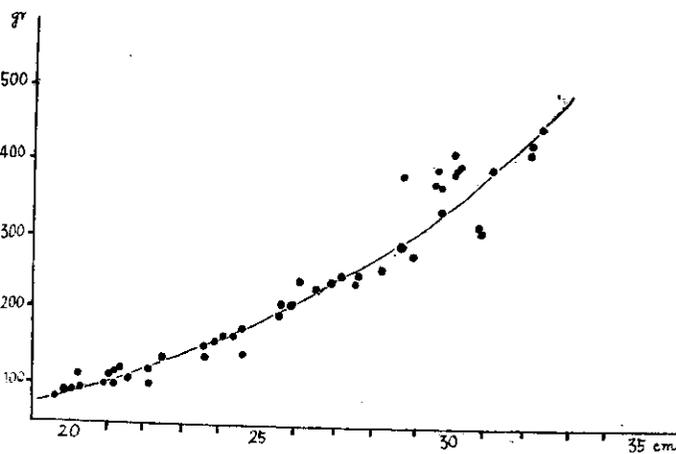
が得られた。

(3) 性比・生殖腺



第2図 左：体長組成 右：体重組成

本県沖合に来遊したさばの性比を調べると、♂53%、♀47%で大体雌雄同数と見做される。生殖腺湿重量を測定した結果は、全尾数が7.7gr以下で、その内1.0gr以下が大部分を占めていた。従つて茨城沖合に夏季来遊するさばは1~4年魚に属し、全く未熟であると云い得よう。体長と生殖腺重量との間には明らかな関係は認められない。



第3図 体長と体重との関係

(4) 種族

調査期間中茨城沖合に来遊し、挑ね釣漁業で漁獲されたさばは殆んどほんさばであつた。